

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,056	△0.9	164	△55.9	170	△56.6	79	△76.5
26年3月期第2四半期	2,075	107.5	373	—	393	—	338	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 140百万円 (△60.5%) 26年3月期第2四半期 356百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	16.03	15.89
26年3月期第2四半期	79.85	78.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	3,077	2,233	72.5	449.01
26年3月期	2,636	2,097	79.5	422.49

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,229百万円 26年3月期 2,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	0.00	—	2.00	円 銭	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	円 銭	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当1円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,858	△22.1	152	△73.7	151	△75.0	145	△69.7	29.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	5,031,300 株	26年3月期	5,022,900 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	58,000 株	26年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	4,967,562 株	26年3月期2Q	4,244,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策・金融政策により、企業業績改善の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調を継続しました。一方、4月に実施された消費税増税による駆け込み需要の反動が続いており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、9月に国内最大のゲームイベントである『東京ゲームショウ2014』が開催されました。32の国と地域から、過去最多の421企業・団体が出展、総来場者数も歴代2位の25万人を記録し、今後の業界の動向に注目が集まる結果となりました。イベントでは、次世代据え置き型ハードウェアであるPlaystation4やXbox One向けの出展タイトルが増え、iOSやAndroid OSといった携帯端末向けのタイトルは、昨年の約2倍の出展数となり、コンシューマゲーム業界、モバイルゲーム業界共に期待が高まっております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、13タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム、Mobage及びdゲームにてソーシャルゲームの配信を行うとともに、Android OS及びiOS対応のゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツ等の配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信等を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,056,870千円(前年同期比0.9%減)、営業利益164,819千円(前年同期比55.9%減)、経常利益170,846千円(前年同期比56.6%減)、四半期純利益79,647千円(前年同期比76.5%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全13タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『ハーレム天国だと思ったらヤンデレ地獄だった。』(PlayStation3専用ゲームソフト)、『htoL#NiQーホテルノニッキー』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『真 流行り神』(PlayStation3及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『クリミナルガールズ INVITATION The Best Price』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『神様と運命覚醒のクロスステーズ』(PlayStation3専用ゲームソフト)の5タイトルを発売いたしました。

国外市場では、『Demon Gaze』(邦題：『デモンゲイズ』、PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Hyperdimension Neptunia : Producing Perfection』(邦題：『神次元アイドル ネプテューヌPP』、PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Battle Princess of Arcadias』(邦題：『アルカディアスの戦姫』、Playstation3専用ゲームソフト)、『Disgaea 4 : A Promise Revisited』(邦題：『魔界戦記ディスガイア4 Return』、PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Danganronpa 2 : Goodbye Despair』(邦題：『スーパーダンガンロンパ2 さよなら絶望学園』、PlayStation Vita専用ゲームソフト)等の8タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズの製作や当社ホームページでの通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,618,761千円、営業利益77,804千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム、Mobage及びdゲームにて『ディスガイア魔界コレクション』の配信を行うとともに、Android OS対応ゲームアプリ『ディスガイア レギオンバトル』の配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツやカスタムテーマ等の配信を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高363,564千円、営業利益209,712千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いました、GREE、mixi及びdゲーム向けソーシャルゲーム『ビックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高20,241千円、営業利益16,804千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されている『うたの☆プリンスさまっ♪ All Star After Secret』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高54,301千円、営業損失4,378千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,077,684千円となり、前連結会計年度末に比べ440,696千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末に比べ、325,148千円の増加)、商品及び製品の増加(前連結会計年度末に比べ、16,366千円の増加)、仕掛品の増加(前連結会計年度末に比べ、9,067千円の増加)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ104,770千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は844,633千円となり、前連結会計年度末に比べ305,280千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(前連結会計年度末に比べ225,418千円の増加)短期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ30,000千円の増加)、売上引当金の増加(前連結会計年度末に比べ56,777千円の増加)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、退職給付に係る負債の増加(前連結会計年度末に比べ2,540千円の増加)等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,233,051千円となり、前連結会計年度末に比べ135,415千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、その他有価証券評価差額金の増加(前連結会計年度末に比べ13,390千円の増加)、利益剰余金の増加(前連結会計年度末に比べ69,717千円の増加)等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は64,915千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益170,846千円、売上債権の増加額297,401千円、仕入債務の増加額207,897千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は105,476千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出470,143千円、投資有価証券の売却による収入388,639千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は20,985千円となりました。これは主に、短期借入金の純増額30,000千円、配当金の支払による支出9,929千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成27年3月期第1四半期決算短信(平成26年8月8日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,385	912,046
受取手形及び売掛金	325,187	650,335
商品及び製品	82,594	98,961
仕掛品	177,929	186,996
繰延税金資産	54,893	58,376
その他	135,270	79,888
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	1,664,560	1,984,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	301,140	294,014
機械装置及び運搬具(純額)	6,099	5,056
土地	191,379	191,379
その他(純額)	29,857	37,955
有形固定資産合計	528,476	528,405
無形固定資産	9,740	24,076
投資その他の資産		
投資有価証券	404,702	509,473
その他	29,507	30,824
投資その他の資産合計	434,209	540,297
固定資産合計	972,427	1,092,780
資産合計	2,636,988	3,077,684

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,066	335,485
短期借入金	-	30,000
未払金	80,523	89,664
未払法人税等	68,519	65,968
賞与引当金	68,602	45,179
売上値引引当金	127,917	184,695
その他	66,952	51,168
流動負債合計	522,582	802,162
固定負債		
退職給付に係る負債	13,806	16,346
その他	2,964	26,125
固定負債合計	16,770	42,471
負債合計	539,352	844,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,185	521,920
資本剰余金	511,185	511,920
利益剰余金	1,063,582	1,133,300
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,079,081	2,150,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,168	19,558
為替換算調整勘定	12,385	60,086
その他の包括利益累計額合計	18,553	79,645
新株予約権	-	3,136
純資産合計	2,097,635	2,233,051
負債純資産合計	2,636,988	3,077,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,075,486	2,056,870
売上原価	1,177,077	1,290,600
売上総利益	898,409	766,270
販売費及び一般管理費	524,450	601,450
営業利益	373,958	164,819
営業外収益		
受取利息	820	2,070
受取配当金	1,840	8,963
為替差益	16,695	-
投資事業組合運用益	-	89
その他	4,074	1,539
営業外収益合計	23,431	12,663
営業外費用		
支払利息	3,557	18
為替差損	-	4,523
投資事業組合運用損	467	-
その他	38	2,094
営業外費用合計	4,063	6,636
経常利益	393,326	170,846
特別利益		
投資有価証券売却益	1,064	-
特別利益合計	1,064	-
特別損失		
固定資産売却損	781	-
特別損失合計	781	-
税金等調整前四半期純利益	393,609	170,846
法人税等	54,655	91,198
少数株主損益調整前四半期純利益	338,954	79,647
四半期純利益	338,954	79,647

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	338,954	79,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△728	13,390
為替換算調整勘定	17,823	47,701
その他の包括利益合計	17,094	61,091
四半期包括利益	356,048	140,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356,048	140,738
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	393,609	170,846
減価償却費	20,845	16,802
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,106	△24,844
売上値引引当金の増減額(△は減少)	50,116	46,145
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△918	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	2,540
受取利息及び受取配当金	△2,661	△11,034
支払利息	3,557	18
投資事業組合運用損益(△は益)	467	△89
為替差損益(△は益)	△2,323	△726
有形固定資産売却損益(△は益)	781	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,064	—
売上債権の増減額(△は増加)	87,071	△297,401
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,373	△22,149
仕入債務の増減額(△は減少)	16,621	207,897
その他	6,504	57,039
小計	640,088	145,043
利息及び配当金の受取額	2,268	10,556
利息の支払額	△3,354	△11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	47,772	△90,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	686,775	64,915
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,622	△14,529
有形固定資産の売却による収入	500	—
無形固定資産の取得による支出	△723	△15,341
投資有価証券の取得による支出	△207,289	△470,143
投資有価証券の売却による収入	158,636	388,639
貸付金の回収による収入	9,987	6,739
その他	△2,864	△842
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,375	△105,476

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△550,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△27,342	—
リース債務の返済による支出	△2,955	△555
株式の発行による収入	325	1,470
配当金の支払額	△4,241	△9,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584,213	20,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,558	41,236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,745	21,660
現金及び現金同等物の期首残高	627,256	890,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	678,002	912,046

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,591,752	320,861	63,276	99,596	2,075,486	—	2,075,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,591,752	320,861	63,276	99,596	2,075,486	—	2,075,486
セグメント利益又はセグメント損失(△)	184,206	214,283	57,147	40,161	495,799	(121,840)	373,958

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額121,840千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,618,761	363,564	20,241	54,301	2,056,870	—	2,056,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,618,761	363,564	20,241	54,301	2,056,870	—	2,056,870
セグメント利益又はセグメント損失(△)	77,804	209,712	16,804	△4,378	299,943	(135,123)	164,819

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額135,123千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。